

22 シラウオ

(シラウオ科)

兵庫県ランク:A

Salangichthys microdon

環境省ランク:-

種の概要

全長8 c m程度。河口から内湾の沿岸域、汽水湖に生息する。動物プランクトン食。生きているときは体が半透明で内臓が透けて見える。外見がよく似たハゼ科のシロウオとは本種の頭部が尖ること、小さな脂鰭を持つことで区別できる。汽水域で成長し、早春に河川に遡上して砂底に産卵する。国内では北海道から九州北部の河口汽水域と汽水湖に広く分布する。



県内における生息状況及びその他特記事項

県内では大河川である円山川と加古川の河口域に分布するが、調査年によって採集個体数の変動が大きい。

写真提供:兵庫県立人と自然の博物館(撮影:増田 修)

保護上の留意点

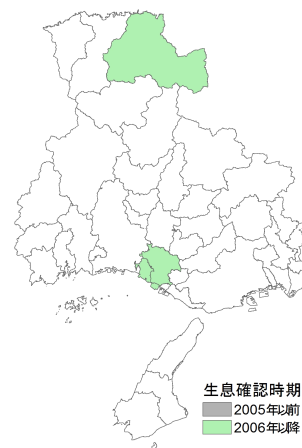
汽水環境に生息を依存しており、汚濁や産卵に適した砂底の減少、潮留堰による汽水域の減少が生存上の脅威になっていると考えられる。

県内分布

加古川市、高砂市、豊岡市

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○



【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励